

# XML技術コンファレンス “XML開発者の日” の開催

VMA研究会  
小町 祐史, 村田 真

## 1. コンファレンスの概要

XML技術コンファレンス “XML開発者の日” が2005年11月24日(木)に、当学会のVMA研究会の主催で開催された。開催通知を公開し、参加申込みの受付を開始してから2日目に満員となって、その後の参加申込みをお断りせざるを得なくなり、多くの参加希望者にご迷惑をおかけした。当日の参加者は113名(欠席32名)となり、もっと大きな会場を望む声が聞かれた。

このコンファレンスで取り上げたトピックは、REST(representational state transfer)であった。RESTは国際的には注目されているものの、これまで国内で取り上げられたことはほとんどなく、議論と情報収集の場を求める関係者の要望とこのコンファレンスの企画とが適切に整合したことが、多くの方々のご参加につながった。

RESTは、Webサービス(SOAPなど)を否定し、もっとWebらしい連携を目指す。URIで参照されるリソースに対して幾つかの基本的操作(GET, PUT, POST, DELETEなど)だけを行う。URI以外の参照手段をもたず、基本的操作を越える高度な操作の導入を行わない。基本的操作によって受け渡される対象は、ハイパリンクを含むXML文書である。最近blogで注目されているAtom Publishing ProtocolとTrackback APIは、このRESTに基づく。

このコンファレンスのプログラムの概要を次に示す。

開会挨拶 [10:00-10:05]

セッション1 [10:05-11:45]

REST入門 -- 山本陽平(株式会社リコー)  
はてなとREST API -- 伊藤直也(株式会社はてな)

セッション2 [12:45-14:15]

RESTful Wikiの実装 -- gorouこと館野祐一(株式会社ディノ)  
APIとしてみたMovable TypeとTrackBack -- 平田大治(シックス・アパート株式会社)

セッション3 [14:25-16:40]

WebDAV/REST/AtomAPI -- 山田泰資(株式会社インターネットイニシアティブ)  
AjaxがRESTに及ぼす影響 -- 高橋征義(株式会社ツインスパーク)  
Services Oriented Web -- Mark Baker(株式会社ジャストシステム), 村田真(発表代理)

セッション4 [16:50-18:00]

パネルディスカッション -- 上記発表者, 丸本徹(有限会社ウィザシステム), 大野邦夫(株式会社ジャストシステム), 大谷真(湘南工科大学)

村田と共に企画・運営にあたった山本陽平氏は、次のWebにこのコンファレンスの報告を掲載している。

- <http://yohei-y.blogspot.com/2005/11/xml.html>

参加者による報告も幾つかのWebに掲載されている。例えば次のWebは、かなり詳細な内容に言及している。

- <http://b.hatena.ne.jp/entry/http://www.asahi-net.or.jp/~eb2m-mrt/kaihatsu8.html>
- <http://www.koshigoe.sakura.ne.jp/dokuwiki/doku.php?id=koshigoewiki:rest:%E7%AC%AC%E7%BC%98%E5%9B%9Exml%E9%96%8B%E7%99%BA%E8%80%85%E3%81%AE%E6%97%A5>

## 2. 背景

“XML開発者の日” というこのXML技術コンファレンスは、今回が初めてではない。表1に示すとおり、これまで7回におよぶ開催があった。第1回の開催通知<sup>[1]</sup>は、このコンファレンスの趣旨を“日本におけるXML開発者・研究者が一堂に会し、互いの成果や見解を発表すると共に、情報交換と交流の場を設けること”と掲げ、期待される対象者を“XMLを利用した技術、仕様、製品、システム、手法などを開発しようとしている皆さん”としている。

表1 これまでの“XML開発者の日”

開催番号	開催日	会場	主要トピック	主催
1	1999-03-13	日本経営協会	XMLと日本語文字	(社)日本経営協会
2	1999-11-13	池袋サンシャインシティ/コンベンションセンター	法律とXML	(社)日本経営協会
3	2000-03-18/19	C&Cプラザ＝NEC関西ビル	RELAX	(社)日本経営協会
4	2000-10-28	有明・東京ファッションタウンビル	XML編集, 他	(社)日本経営協会
5	2001-04-07	日本IBM(株)箱崎事業所	RELAX Namespace	(社)日本経営協会
6	2001-11-10	青山テピア	RELAX NG	XMLジャパン
7	2002-11-30	青山テピア	スキーマ言語	XMLジャパン

いずれの開催も多く参加者を集め、多くの参加者から有益な議論の場であるとの評価をいただいていた。第7回の開催の後、主催・サポート体制が整わず、XML関連技術の進展にもかかわらず、このコンファレンスは開催されなくなった。そこで、再開を望む声が高まった。

このような関係者の要求に応えるため、小町と村田との相談が行われ、画像電子学会事務局の地味ではあるが着実な事務局業務に期待して、同学会VMA研究会の主催による“XML開発者の日”の開催が計画された。この計画は、2005年11月の同学会企画委員会に提出され、承認された。その際に企画書の一部を次に示す。

XMLそのものは、既にW3C(World Wide Web Consortium)でその規定内容が公開され、国内でもJIS X 4159としてオーソライズされて周知の主要技術になり、広く普及している。その結果、さまざまなXML応用技術およびXML関連技術が研究・開発されている。その幾つはジャーナリズムなどの注目を集め、メディアでの紹介が行われている。しかし、まだあまり紹介されていないXML関連の重要技術も多く、その中には今後の世の中を変える可能性のあるものも存在する。

XMLそのものの規定内容も、数名の技術者が休暇をとって手弁当で集まり、そこで開発した。最近ISOで承認され注目を集めているスキーマ言語のRELAX NGも同様の経緯をたどった。このような重要技術の草の根活動をその初期から紹介し、関係者が議論する場は国内にはほとんど存在しない。

それで“XML開発者の日”と称するコンファレンスを、VMA研究会で主催して関連技術の発展に寄与することを提案する。

### 3. 今後の計画

2006年度の“XML開発者の日”は、昨年同様に11月の開催を予定している。なるべく多くの参加希望者にご参加いただくため、適切な会場の選定を学会事務局に依頼しており、さらに昨年度の参加者が幾つかのWebに掲載しているご要望に応えることが学会内で検討されている。次回のトピックとしては、Microformat<sup>[2]</sup>、NVDL<sup>[3]</sup>等が候補として検討されている。詳細が決まり次第Web等によってお知らせする。

XML関連技術は画像電子学会のスコープに入っており、これまでもVMA研究会等で発表が行われている。しかし、VMA研究会が主催した第8回の“XML開発者の日”にご参加いただいた方の多くは、画像電子学会の会員ではない。“XML開発者の日”の今後の議論等に合わせて学会のスコープを拡大し、結果として会員の増加を図ることは、学会としての課題になろう。

### 4. References

- [1] 第1回 XML開発者の日 1999 開催のお知らせ, <http://www.xml.gr.jp/event/xmldevday1.html>
- [2] Latest microformats news, <http://microformats.org/>
- [3] SC34 N694, FDIS 19757-4, Document Schema Definition Languages (DSDL) Part 4 - Namespace-based Validation Dispatching Language, <http://www.jtc1sc34.org/repository/0694c.htm>